

生ごみが消える魔法のごみ箱「キエーロ」は、作り方も使い方も簡単! みんなも使ってみてね!

特集

燃やせるごみ排出量1日あたり
82.1トン是实现できる!
~3つの取り組みで目標達成へ~



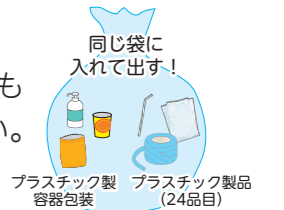
一部のプラスチック製品をプラスチック製容器包装と一緒に収集します

プラスチック素材の製品について、法律によりリサイクルの仕組みが作られました。現在のごみ処理施設でも以下の24品目についてはリサイクルできる体制が整ったことから、令和6年4月1日からプラスチック製容器包装と一緒に収集を開始します。

〈新たにリサイクル可能となるプラスチック製品〉



Q プラスチック製品をごみ袋に入れる際に注意することはありますか?
A プラスチック製容器包装と同じ袋に入れてください。シートや紐などの大きいもの・長いものは、広げた状態で1辺が50cm以内となるように切断してください。また、チャックなどの金具や、ひもがついている場合は、取り除いてください。



Q ビニール袋の例を教えてください。
A 例として次のようなものがあります。
・プールバッグ ・食品保存袋
・携帯用プラケース ・エコバッグ



コンクリート製物干し台の捨て方が変わります

これまで「粗大ごみ」として収集してきた物干し台ですが、市の施設では処理できないことや、すでに民間の処理ルートが確立されていることから、市による収集・受入れを令和6年3月29日をもって終了します。4月以降に処理する場合は、右記の事業者へ処理を依頼してください。

1 ご自身で処分許可業者へ持ち込む場合

※事前にお問い合わせください。

○有限会社吉田骨材店
TEL:0242-26-3452
住所:北会津町上米塚字村東1314

○株式会社アクトイン
TEL:0242-29-2220
住所:神指町大字南四合字幕内西351番地の2

2 収集を依頼する場合

生活系ごみ収集運搬許可業者*へお問い合わせの上、依頼してください。
※市ホームページ又はごみカレンダーでご確認ください。



【編集・発行】 会津若松市 市民部 廃棄物対策課

〒965-0858 会津若松市神指町大字南四合字深川西292-2

電話0242-27-3961 FAX0242-29-1618 Eメールgomi@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp

URL: http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/

特集

燃やせるごみ排出量1日あたり82.1トンは実現できる！

～3つの取り組みで目標達成へ～

令和8年3月稼働予定の新ごみ焼却施設は、人口減少の中、将来を担う子どもたち世代にとって過度な負担とならないことを考慮した上で、最大限の処理能力を確保しました。しかし、令和4年度燃やせるごみ排出量は1日あたり104.2トンであり、目標とする新ごみ焼却施設の受け入れ可能量82.1トンまで、あと2年間で22.1トン減量する必要があります。本市の燃やせるごみの分析結果からは、市民・事業者の皆さまによる3つの取り組みで目標達成が可能です。未来の子どもたちのため、燃やせるごみの減量を実現しましょう！

事業者の皆さまへ

取り組み①

事業所での古紙の資源化 → ▲10.4トン

事業所から出るものであっても古紙は資源です。書類や新聞などはもちろん、メモやふせん、カードなどの小さな紙もリサイクルの対象となります。さらに、シュレッダー古紙も買い取りを行っています。個人情報や機密情報を含む書類も燃やさないルールを作りましょう。



なお、リサイクルは、以下の2つの方法があります。

↑メモやふせんなどの小さな紙も封筒などに入れて古紙に出せます

方法① 買い取り業者を利用する

古紙は買い取り業者に売ることができます。量が多く状態が良いほど価値が高くなりますので、ダンボール、厚紙、チラシ、新聞、書類など、汚さないように分別保管しましょう。排出者が持ち込むか、買い取り業者が回収するかは、量や頻度で異なりますので、買い取り業者にご相談ください。

業者名	住所	電話番号
会津資源回収組合	会津若松市花見ヶ丘二丁目11-3	0242-29-2784
(株)釜屋	会津若松市町北町始字見島78	0242-23-1874
佐藤商店	会津若松市花見ヶ丘二丁目11-3	0242-28-3571
(株)中商	会津若松市神指町大字南四合字幕内西321-6	0242-27-6474
アマルク会津町北	会津若松市町北町大字始字見島95	0242-25-2368
アマルク会津一ノ堰	会津若松市門田町大字一ノ堰字村西566-5	0242-38-2181

方法② 収集運搬許可業者を利用する

事業系ごみ収集運搬許可業者では、古紙などの資源物の収集も行っていきます。ごみ処理を委託している事業者にご相談ください。

3つの取り組みで資源化・分別・減量に取り組めば、目標以上に燃やせるごみを減らすことができるね！



市民の皆さまへ

取り組み②

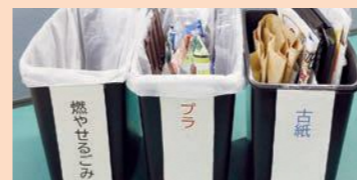
家庭での資源物の分別 → ▲12.9トン

古紙6.8トン、古着1.5トン、プラスチック製容器包装4.6トンがリサイクルされずにごみとして燃やされているため、分別の徹底が必要です。燃やせるごみ用のごみ箱だけでなく、「古紙用」「プラ用」のごみ箱を用意するなどして分別し、資源を燃やさないようにしましょう。



↑汚れたプラは洗って出します。

また、状態の良い衣類は透明の袋に入れて市役所や公民館等の「古着回収BOX」へ出せます。ぜひご利用ください。



↑ごみ分別専用ごみ箱の例

市民の皆さまへ

取り組み③

家庭での生ごみの減量 → ▲33.6トン

手順① 食品ロス対策で生ごみの発生量を減らす！

生ごみを減らす最初の手順は、「直接廃棄」と「食べ残し」による食品ロスを無くすことです。手を付けられずそのまま捨ててしまう「直接廃棄」は食品ロスの4割を占めます。買いすぎを控え、鍋やカレーなどで、できる限り食材を使い切りましょう。また、同じく4割を占める「食べ残し」を無くすため、作りすぎをせず、食べ切りを実践しましょう。



手順② 発生した生ごみは「キエーロ」等で処理！



蓋付きケースに土を入れるだけ



野菜や果物の皮などは、きざんで入れると効果的



5日後

分解されていました！

やむを得ず発生してしまった生ごみは、春から秋は「キエーロ」で消滅化、冬は「コンポスト」で堆肥化することができます。特に「キエーロ」は、(1)臭い・虫が発生しない、(2)必要なのは箱と土だけ、(3)土の量が増えない、(4)5日程度で分解するので成果を実感できる、(5)ごみ箱が清潔になるなど、とても便利です！

コンポストも、冬は臭いや虫の発生が気になりません。春にコンポストからキエーロに切り替える際には、生ごみの上に土をかぶせると衛生的です。

消滅型生ごみ処理容器「キエーロ」についてホームページで詳しく紹介していますので、ぜひご覧ください！



(※「キエーロ」は、キエーロ葉山の登録商標です)

手順③ 燃やせるごみで出す際は、水切りや乾燥を！

キエーロの分解速度が遅くなる冬や、キエーロが使えない住環境の方は、電動生ごみ処理機などでの乾燥や、ごみ出し前に水切りの徹底をお願いします。



電動生ごみ処理機でキッチンが衛生的になります！